

11502自動車・同付属品製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2019	1	15 ～ 16	ばらし作業場で、二人一組で製品の入っているバスケット（約35kg）を持ち上げ、別の入れ物に移し替える作業をしていた。その際、被災者の方に多く負担が掛かり、腰椎を捻挫した。	20	19	921	50～ 99
2	2019	1	11 ～ 12	工場内にて、600tプレス作業中、容器から材料がはみ出し、直すため置き場にハンマーを取りに行き戻った際、右足をひねり靭帯を負傷した。	22	19	921	50～ 99
3	2019	1	11 ～ 12	工場にて、中型トラック用のエンジン部品（クラッチカバー、重量約25kg）を、エンジンに取り付け作業中、力を入れ体をひねった際、背中に挫傷を負った。	34	19	521	1000 ～ 9999
4	2019	1	9 ～ 10	自動車部品の検査時に、空箱を後ろに置こうと後ろを向いた際、滑って体勢を崩し腰をひねり背部を伸ばし、腰部を捻挫した。	52	19	921	100～ 299
5	2019	1	15 ～ 16		27	7	153	30～ 49
6	2019	1	8 ～ 9	工場内で角パイプを切ろうとローラーの上に載せようとしたとき、角パイプを斜めに引いてしまいローラーが倒れ角パイプが落下し、右足親指および人差し指を亀裂骨折した。	65	4	521	10～ 29
7	2019	1	9 ～ 10	納場でトラックの荷台から積荷を台車に降ろそうと腰を曲げたと同時に、腰に強い痛みを感じ、身動きが取れなくなり、ぎっくり腰を発症した。	58	19	221	10～ 29

8	2019	1	2 ～ 3	改善作業で、点付け溶接部のばらし作業中、一方をサンダーで除去し、もう一方を定盤の丸パイプへ入れ剥がそうとしたところ、フックの溶接が剥がれ、定盤と左手小指が接触し、左手小指を骨折した。	35	3	379	1000 ～ 9999
9	2019	1	6 ～ 7	台車を工程内に引き込む際、台車連結部に左足首をぶつけ、左足アキレス腱付近を負傷した。以前より当該部に疾患があり悪化した。	20	3	362	1000 ～ 9999
10	2019	1	9 ～ 10	工場内の2階から3階へ上る階段を移動中、足を滑らせ転倒し、左肘を打撲した。	52	2	413	100～ 299
11	2019	2	11 ～ 12	鋳造系のYラインで、84リフターのシリンダの運転状況を確認するため、シリンダを覗き込んだ際に体勢を崩し、84リフターフレームと鉄製フレームの間にうつ伏せの状態で倒れ込んだ。その際に84リフターが下がってきて、リフターフレーム底面が被災者の胸部と右上腕部を挟み込んだ。被災者は15分前後の心肺停止を起こし、3週間の療養を経て死亡した。また、右上腕部に骨折も見られた。	32	7	229	100～ 299
12	2019	2	8 ～ 9	作業場にて、作業準備のためパレットを取りに行く際、延長コードカバーにつまずき、前方向に転倒し、コンクリート床に両手を強打し骨折した。	59	2	417	10～ 29
13	2019	2	17 ～ 18	工場内にて、屋外で荷役作業中、フォークリフト後方を通過した際、後退したフォークリフトと接触して転倒し、フォークリフト右後ろのタイヤが右足腿に乗り負傷した。	59	7	222	300～ 499
14	2019	2	11 ～ 12	汎用旋盤で鋳造型部品製作中、電源を切り、旋盤が惰性で回っていたときに、加工物の上に右手を持ってしまった。その際、着用していた腕カバーが加工物に巻き込まれ、手が引き込まれて右手首に裂傷を負った。	66	7	151	300～ 499
			6					

15	2019	2	7	駅構内で階段を下りる際、足をひねり左肩から転倒し鎖骨を折った。	46	1	413	100～ 299
16	2019	2	15～ 16	組立作業中、誤ってパイプの間に左手指を入れて負傷した。	63	8	521	10～ 29
17	2019	2	19～ 20	工場にて、ディスクグラインダーを用いてハンドリフトの格納に使用する、ステンレスのケースの溶接部分を研磨しているとき、左手手袋が破れて糸が解けていた部分が、回転部に巻き込まれ、左手親指の付根（手のひら側）をディスクで切り負傷した。	34	8	153	10～ 29
18	2019	3	10～ 11	事業所内工場で、機械から流れてくる製品が入った箱（約20kg）を台車に載せていたとき、6箱目を台車に載せる際に体をひねり、腰椎を捻挫した。	42	19	921	300～ 499
19	2019	3	9～ 10	成形品のゲートカットを行う際に、足場にしていた踏み板が徐々にずれて、隙間に右足を挟んで捻挫した。	34	1	418	500～ 999
20	2019	3	9～ 10	成形機への材料投入するため材料の払い出し作業中、材料を前屈みで材料台車（高さ50cm）へ積み替えの際、腰を負傷した。	35	19	921	500～ 999
21	2019	3	19～ 20	中2階の事務所から1階に階段で下りる途中、5段目辺りで階段を踏み外し転倒しそうになったため飛び降りたところ、右足踵を骨折した。	48	2	413	1000～ 9999
22	2019	3	13～ 14	工場内で、金型取り付けボルトを外すとき、滑って転倒し、右手を床につき手首を骨折した。	59	1	154	100～ 299
23	2019	3	16～	工場内でパレティーナの中から巻紙を取り出そうと巻紙を両手で持ち上げた際、パレティーナ上部の縁に右脇腹が接触し負傷し、その後負傷したまま、パレティーナ内の巻紙を立ち起こそうとし	59	3	611	50～ 99

			17	た際、右手母指を負傷した。				
24	2019	3	14 ～ 15	工場内にて、アルミパイプのカットを丸鋸盤にセットされた治具を使用し、切粉が発生し治具に付着するため、軍手をしていた右手で除去する際、誤って回転刃に触れ、巻き込まれ右手中指先端部に切傷を負った。	21	7	159	50～ 99
25	2019	4	17 ～ 18	工場内にてワークを検査シュートに投入した際、投入したワークが斜めになったため直そうとしたところ、リフターが下降し、リフターの間隙に左手小指を挟み骨折した。	26	7	169	500～ 999
26	2019	4	20 ～ 21	塗装治具清掃工程でエアホースを取りに行こうとした際、後ろに置いていたカゴに向こう脛をぶつけ転倒し左足、左脇を打撲した。	51	2	379	1～9
27	2019	4	4 ～ 5	空段ボール箱を手動パレットで運搬していたとき、左側に曲がる際、右足先をパレットに挟み、前方に転倒したとき、左足首をひねり骨折した。	35	2	362	100～ 299
28	2019	4	11 ～ 12	工場の作業場で、グラインダーで研磨作業をしているとき、ゴム手袋の先が吸い込まれ、少し引っ張られている間に、左手の人差し指の先が砥石にすれた。	21	1	153	1～9
29	2019	4	16 ～ 17	自動車内装部品組み立て作業中、ボードに穴を打ち抜くため、ハンマーで叩いた際、誤って左手親指を強打し負傷した。	56	4	364	30～ 49
30	2019	4	16 ～ 17	ピストン加工ラインで完成品のポリ箱を通路側からパレットに積んでいたとき、バック走行していたフォークリフトを避けようとしたが、体勢を崩し左足首に接触し、受傷した。	50	3	222	50～ 99
31	2019	4	16 ～ 17	会社内にてアルミ製品を卓上丸ノコで切断作業中、丸ノコの刃にアルミ製品がかんでしまい、アルミ製品がはじけて動き、アルミ製品を持っていた左手の人差し指を卓上丸ノコの土台部分とアルミ製品の間で挟んでしまい、粉碎骨折した。	21	7	131	10～ 29

32	2019	5	6 ～ 7	クランプ治具上部の異物（油汚れ）を見つけたため、とっさに軍手をはめた右手で拭き取ろうとした。その際、クランプ内に指が入り、右手人差し指を切断した。	44	7	159	100～ 299
33	2019	5	11 ～ 12	プレス工場内にて、樹脂パレットを持ち上げ移動し、重く持ち上げがらず、手から離してしまい、右足に落下し、右足親指を骨折した。	59	4	379	1000 ～ 9999
34	2019	5	10 ～ 11	熱成形プレス内で、成型金型の汚れを、金ブラシを取り付けたサ ンダーで清掃中、保護面の隙間から異物が左目に入って負傷した。	32	4	153	50～ 99
35	2019	5	15 ～ 16	作業場にて、ボデー製造部品（アルミ材）長尺物に電動ドリルで穴あけ作業中、ドリルの刃が材料に食い込みドリル本体が回転し、ドリルを持った手が回転してしまい、右手をひねり、右手薬指を骨折した。	28	7	169	10～ 29
36	2019	5	8 ～ 9	ウォークリーフークリフトにて、製品2段積み台車の1段目に爪の先端が指してある状態で、爪を上昇させてしまい、落下を防ごうと2段目の台車を横から支えようとしたが支えきれず、1段目の台車が右膝をかすめて右足甲に落下して負傷した。	60	5	222	100～ 299
37	2019	5	9 ～ 10	吊り治具を使い重さ約150kgの丸棒をトレーに積み込むときに、製品が滑り落下して床のゴムマットで跳ね返り右足の甲に当たり、右足中指を骨折した。	58	4	372	50～ 99
38	2019	5	7 ～ 8	職場へ向かおうと階段を下りていたところ、左足を踏み外して1～2段下の踊り場に右足から着地し、右足首をひねり、左膝を地面に打ち付けた。	36	1	413	100～ 299
39	2019	5	10 ～ 11	艀装工場で、踏み台を使用して小型放送中継車の外面に部品を取り付けていた。作業が終わって後ろ向きに下りる際に足を踏み外し、腰椎を捻挫した。	64	1	371	100～ 299
			10	冷凍シャーシ内部で、冷凍機典型整備作業後、シャーシより降り				

48	2019	6	15 ～ 16	ブリケット（木質の人工薪）が造型・排出され、冷却工程に入る際のブリケットが若干反り上がり、冷却工程の入口で削られて欠片が発生した。その欠片が後工程に入り込むとトラブルになると 思い、右手で除去しようとした際、排出され続けるブリケットと冷却工程の入口との間に右手を挟まれ負傷した。	37	7	169	300～ 499
49	2019	7	10 ～ 11	工場内で製品を台車に載せて運んでいたところ、滑って転倒し、後頭部を地面に打ち付けて負傷した。	51	2	417	30～ 49
50	2019	7	14 ～ 15	事業場外にて、安全鋼板施工中、鉄パイプ取付用クランプを設置中、クランプを固定する際、油圧ショベルが鉄パイプを誤って押し、右手人差し指を挟み骨折した。	36	7	142	1～9
51	2019	7	10 ～ 11	工場内で機械を操作し鋳造部品を製造中、機械が異常を検知して止まった。再稼働する手順を間違えたため、溶けたアルミが給湯口から吹き出し、左腕肘から小指にかかり火傷を負った。	27	11	159	100～ 299
52	2019	7	17 ～ 18	工場にて、粉碎機の投入口付近に大バリが引っ掛かり、取り除くため、粉碎タンクを踏み台にして対応した際、足を踏み外し、金型に倒れ掛かり、右足首・右大腿を打ち、打撲した。	43	3	371	100～ 299
53	2019	7	5 ～ 6	作業所内空箱置き場にて、フォークリフトから降りる際、眼鏡のレンズが雨で濡れており、レンズを拭くためTシャツを上げ裾で拭いた際、裾がリフトのハンドルレバーに引っ掛かり、バランスを崩し、フォークリフトのタイヤに左足を挟み打撲した。	22	7	222	10～ 29
54	2019	7	14 ～ 15	次機種部品へと金型交換中、プレス機ベッド周辺に散乱していたスクラップを処理するため、機内で処理していた際、マシンオペレーターが気付かず次機種部品の金型を機内へ走行させたため、被災者の右足が金型の台車とベッドの間に挟まれ右足股関節部を骨折した。	28	7	154	1000 ～ 9999
55	2019	7	8 ～	工場にて、トラック部品の入った収納箱をパレットに載せようとした際、腰を下ろさず前かがみで腰を曲げた姿勢で勢いよく持つ	49	19	611	30～

			9	た際、腰を負傷した。				49
56	2019	7	8 ～ 9	旋盤でネジ切り加工段取り中、ゴム手袋を装着したまま回転中の鉄丸棒を握り、左手の中指、および薬指の先を切断し、左手の掌を火傷した。	39	7	151	50～ 99
57	2019	7	14 ～ 15	吊り具を使用してステンレス板1枚を移動しようとした際、ハッカーにコントローラーのワイヤーが挟まった。ワイヤーを外そうとして、通常ではかけることのない負荷をかけたところ、ハッカーから材料が外れて右足甲の上に落ち、骨折した。	29	4	372	30～ 49
58	2019	7	11 ～ 12	工場内でプレス作業中に、不注意で部品を右手で押さえたままプレス降下ボタンを押してしまい、右手人差し指を挟んで損傷を負った。	70	7	154	1～9
59	2019	7	8 ～ 9	仕上げ加工場内で、切断終了後扉が開いたとき、通常下へ落ちるワークが傷の付いた状態で残っていた。それを下に落とすと受け箱の製品の中から傷の付いたワークを見つけ出さないといけないため、クランプが上がる際、人差し指と中指で、そのワークを押さえようとした。その際、右手親指をクランプに挟んでしまい負傷した。	53	7	159	30～ 49
60	2019	7	1 ～ 2	圧造機の終了作業中、薄手ゴム手袋着用の上、金型を引き抜こうとしてトランスファアの搬送装置（駆動部）が立ち上がった状態のところに左手を掛けてしまい、駆動部が倒れてきて、左手薬指を挟み切傷を負った。	26	7	169	50～ 99
61	2019	7	9 ～ 10	テントの支柱の高さを上げていた際、右肩を脱臼した。	53	19	921	100～ 299
62	2019	8	14 ～ 15	技能研修生の体育大会でサッカーの試合中に、相手選手をブロックしながら前方にあるボールを取ろうとして走っていたとき、右膝の靭帯を損傷した。	19	3	417	10000 ～

87	2019	10	20 ～ 21	エアリーク差圧管組み立て工程でリーク栓を外そうとしたときに、ウレタン部分にゴムが貼り付き底部が一瞬浮いてできた隙間に小指が入り骨折した。	42	7	391	50～ 99
88	2019	10	15 ～ 16	工場内、成形機のマグネットクランプの部品変形修正のため、卓上グラインダーで研磨していた。仕上げでバリ取りをする際、手袋をして小さな部品を研磨していた。持っていた部品が小さかったため、グラインダーの回転部分に手袋の先が巻き込まれ、人差し指が挟まれ骨折した。	41	7	153	100～ 299
89	2019	10	7 ～ 8	1号炉予備傾動実施の際に、出湯部を確認し、振れ防止バーが設置されていないことに気付いた。振れ防止バー取り付けに行ったとき、1号炉より湯が流れ落ち、腰背部に熱傷を負った。すぐにその場を離れて待機したが、1号炉が傾動したと思い込み、傾動を下げようとしたところ、誤って上昇させて湯が出た。その際、湯玉で再び火傷を負った。	36	11	341	100～ 299
90	2019	10	15 ～ 16	被災者は、荷物用エレベーター内でしゃがんで作業をしていた。もう一人の作業者がエレベーターの扉を閉めるボタンを押したところ、被災者の臀部が庫内より外にはみ出ていることに2人とも気付かず、下りてきたエレベーター扉に当たり、腰部と臀部を負傷した。	52	6	214	100～ 299
91	2019	11	8 ～ 9	工場内のプレス課検査工程で、プレス機からコンベアに流れた製品を検査する作業と、箱から製品を取り出して検査する作業を繰り返していた。その結果、左手親指から手首にかけて痛みが生じ、左手にドケルバン腱鞘炎、左手母指にCM関節症を起こした。	58	19	921	100～ 299
92	2019	11	8 ～ 9	工場内にて、自動車部品のナット付けを溶接機で作業中、電極交換をした際、電極の上部と下部の間に左手中指を挟み、挫滅創を負った。	40	7	332	50～ 99
				ラミネート機の3段式ローラーを清掃する際、シェービング装置				

93	2019	11	16 ～ 17	が稼働している状態で、回転中の下段ローラーにカッターの刃を押し当てた。その際に刃がバウンドして、中段と下段のローラーの間に左腕が巻き込まれて負傷した。	45	7	163	10～ 29
94	2019	11	9 ～ 10	重さ20kg程度の品物を2人で運んでいる途中、フォークリフトの爪に足を引っ掛けて尻もちをつき腰を剥離骨折した。	74	2	222	10～ 29
95	2019	11	20 ～ 21	車のマスキングをするため、バックドアを手で持ち上げ治具固定をした。固定が不十分であったため手を離れた際にバックドアが落下し右首と右肩に当たり、頸髄を損傷した。	38	4	921	1000 ～ 9999
96	2019	11	13 ～ 14	切断機でアルミ製品を切断していたときに、製品の形状が不安定だったため、製品が刃に触れたとたん激しく振られ右手の中指に当たり打撲した。	44	8	159	50～ 99
97	2019	11	6 ～ 7	現場で苛性ソーダの液体が入った容器に治具を入れる際、治具を入れたざるの端に付いている針金が弾けて、液が左目に入り化学熱傷を負った。	34	12	519	1～9
98	2019	11	10 ～ 11	作業場内にて塗装作業を終えたトラック用の鳥居（重量約100kg）を立てて載せた台車を押して移動させているとき、床に置いていた鉄製アングルに台車が乗り上げ、運んでいた鳥居が倒れかかった。その際、咄嗟に手で押さえたが耐えきれず鳥居とともに転倒し、左足を骨折し、左手中指を負傷し、首、腰、左膝に打撲を負った。	63	5	362	50～ 99
99	2019	12	0 ～ 1	本社工場敷地内の横断歩道を歩行中、運送業者が被災者に気付くのが遅れ、急ブレーキを掛けた。そのとき、フォークリフトで運んでいたパレットが被災者に接触し、右肘・左手・腰部・頭部を負傷した。	43	6	611	1000 ～ 9999
			7	自動車のフレームドア、ドア枠を組み立てる工程作業に従事していた。その際、部品運搬、キャスター付きゲージの移動、体				

100	2019	12	～ 8	(腰) を使ったのゲージからの部品取り外し、重量物の運搬 (い ずれも単独作業) および不自然な姿勢での、角溶接等の作業を約 10年続けていて、腰に違和感を覚え、腰椎椎間板ヘルニアを 負った。	41	19	611	100～ 299
-----	------	----	--------	---	----	----	-----	-------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで \(2019年\)](#)に戻る。